



気になる
あの人に
迫ります

今のリアルな日本を伝えるために、
モノやことがらを超えて、
「人」にアプローチ。
留学生も加わり、
さまざまな目で取材した
日本情報を発信しています。

ときめき取材記

「ときめき取材記」ウェブサイトでは、留学生を含め、日本語や日本事情を学ぶ学生たちが、興味のあるテーマを選び、そのテーマに関係する人にインタビューして、まとめた記事を掲載しています。テーマ選び、人選、依頼、取材、記事の作成……、すべて学生たちが行います。

2017年度は、日本の大学だけでなく、海外の大学や日本語学校などでもときめき取材プロジェクトがスタートしました。より多くの学生たちの力で、文化はさまざまな容貌を見せます。

これに加えて、「外国語学習のめやす」マスターの田中祐輔・東洋大学准教授を講師に迎え、プロ

ジェクトに取り組む先生方を対象にセミナーを実施しました。参加した4名がつくった単元案やルーブリックはめやすWebに掲載しています。さらに、プロジェクトに取り組む先生方の情報交換の場を設け、TJFはインタビューや写真についての講義動画、資料や素材を提供しました。



東京国際大学の学生と
マスクの研究家・飯田
裕貴子さん（中央）



武蔵野美術大学の学生と『珈琲時間』編集長の高橋敦史さん

2017年度はこの人にインタビューしました



「マスクの秘密」（東京国際大学取材班：2チーム）

同じチームのトルコの留学生から投げかけられた疑問——なぜ日本ではマスクをしている人が多いのか。確かに日本では日常的にマスクをしている人が多い。でも、日本以外の多くの国ではマスク＝病気。マスクのいろいろな使い方やメリットを知るために、マスクの研究者や開発者に話を聞きました。

〈インタビューにこたえてくださった方々〉

〔マスク研究家〕 飯田裕貴子さん
〔日本バイクリーン株式会社〕 谷津一義さん・向光晴さん

「ときめき取材記」
プロジェクトに取り組んだ
先生に聞く

お答えします！

プロジェクトの効果

上田安希子・東京国際大学講師（プロジェクト参加時）



その1

教室と社会をリンクさせることができる

TJFのウェブサイトに掲載されることが前提なので、学生たちはリアルな社会を意識してプロジェクトに取り組むことができます。また、テーマに基づき取材先を選定し、インタビューを依頼するというプロセスはキャリア教育にもつながります。

その2

「ステレオタイプ」に気づく

テーマに関わる人と会い、話を聞いて記事をまとめる過程で、自分がもつ思い込みに気づくことになります。プロジェクトを通して、学生一人ひとりが、自身のステレオタイプを崩し、日本について、テーマについて、捉え直すことができます。

その3

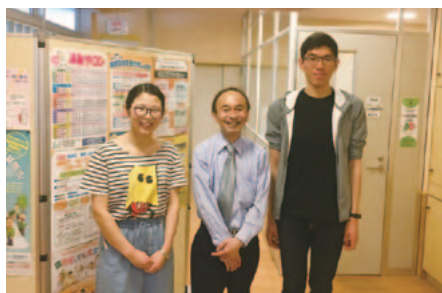
留学生と日本人学生の協働が自然と生まれる

インタビューの内容は日本人でも初めて知る情報であることが多いので、日本人学生のほうが圧倒的に有利という状況にはなりません。むしろ、留学生ならではの視点を交えることで、記事に膨らみがもたせられる場合が多く、留学生と日本人学生が対話を活発に行うようになります。

その4

本当に必要なコミュニケーション力が意識できる

インタビューの現場では、ふだんの教室活動で求められる正しく丁寧な日本語コミュニケーション力とは異なる力も必要になります。実社会で役立つ「本当に必要なコミュニケーション力とは何か」を意識させることができます。



OLJランゲージアカデミーの学生と老人ホーム施設長の金川宗正さん

2017年度事業データ

「ときめき取材記」プロジェクト

期間：2017年4月～2018年3月、参加者：上田安希子（東京国際大学講師、群馬県立女子大学講師）*、荻野雅由（カンタベリー大学 Lecturer）*、重信三和子（OLJランゲージアカデミー講師）*、三代純平（武蔵野美術大学准教授）*、矢部まゆみ（横浜国立大学講師）、義永美央子（大阪大学教授）
*はセミナー参加者

写真は『ときめき取材記』ウェブサイトより



「喫茶店の魅力」（武蔵野美術大学取材班：3チーム）

日本の喫茶店には独特な雰囲気があります。古くて懐かしい店、暖かい家庭的な店など。なぜそのような店をつくったのか、どんなこだわりをもってこれらの店をつくったのか、そしてオーナーさんはその店とともにどんな人生を歩んできたのか、オーナーさんやカフェに詳しい方にお話を聞きました。

（インタビューにこたえてくださった方々）

〔Café Anemoneオーナー〕 大野樹音さん・安田久美子さん
〔名曲喫茶「でんえん」オーナー〕 富美子さん
〔珈琲時間〕編集長・編集ディレクター 高橋敦史さん



「りっくにつぽん」ウェブサイトの「My Way Your Way」コーナーでは、今、日本で話題になっていることを切り口に、人の考えや生き方に迫っています。2017年度は「妖怪」「アイドル」をテーマにした記事を更新しました。



「ときめき取材記」2018

2018年度も新しい記事が次々掲載されています。

《掲載中のテーマ》



授業に「ときめき取材記」プロジェクトを取り入れたい、という先生は、こちらからお問い合わせください。



ときめき

「りっくにつぽん」2018

「りっくにつぽん」「ときめき取材記」のコンテンツを使った学習活動のアイデアを紹介したメルマガ「Click Nippon News」を月1回、日英2言語で配信しています。バックナンバーをご覧になりたい方、配信を希望される方は下からご登録をお願いします。



りっくにつぽん